

秋空の下、さわやかに運動会



運動会シーズン真っ盛り。十月八日、市内のほとんどの保育所で運動会が行われました。

来年、園舎の新築移転が決まっている久礼田保育所では、現在の保育所での運動会に最後とあって、準備のときから大変な力の入りよう。運動会が始まり、「ほいくえんありがと」と書かれたカンパンが降幕されると、ムードは一気に盛り上がり、父母らの声援は熱気にあふれました。「かじっこ」では、はりきり過ぎて「コーナーを回りきれない子どもも、岩崎所長は「みんなよく頑張った」と満足そうでした。

スポーツを通じて、健康の保持と生きがいを高めようと、南国市老人体育大会が十月八日、市民体育館で開かれました。

大会には、特別養護老人ホーム、土佐清風園や白根荘からも参加。六十歳以上の方々約八百人がスポーツの秋を楽しみました。

競技は、「ゲートボール」や「ボール送り」「玉入れ」など八種目で、応援席からの「頑張れ、頑張れ」の声援に、ハッスルプレーも相次ぎ、体育館は終日熱気に包まれていました。



カラオケで交流会

南国市歌謡愛好者連合会（山岡敏生会長）の第十一回南国歌謡愛好者交流会が九月二十五日、同豊町滝本の毘沙門の滝前に特設ステージを設営し、開かれました。

この日は、同愛好会の会員、約七十人が参加。カラオケテープに合わせて、自慢のノドを披露、会場からは「いいぞ」「うまいぞ」



など声援が飛び交い、和やかなひとときを過ごしていました。

空の日

九月十八日、「空の日」の記念行事が高知空港で行われ、親子連れなど一万人以上が訪れました。これは民間航空再開を記念しておととしから始まったもの。

会場には、航空機部品の販売コーナーや各種屋台が並びました。また、訪れた観客は、ちんどん野市一座のショーやウルトラクイズ、ビンゴゲームなどのイベントを満喫。特に普段入れない空港内を見学する「ドロップパス」に子どもたちは大喜び。羨望も和らいだ秋の一日を楽しみました。



▼体育の日の10月10日、南国市健康ウォーキング大会が開かれ、約80組300人が参加。

まほろばの地、比江、国府を会場に、紀貫之の跡や国分寺をまわる約5kmのコースで、途中4か所の関門も。参加者はクイズや輪投げに挑戦しながら、心地よい汗を流しました。



▲10月8日、陣山出身で、郷土と農民のために尽した偉大な政治家、大石大さん（おおい だい）を偲ぶ会が、北陣山公民館で行われました。

この日は住民や大さんの親族が集まり、肖像画の序幕が行われたあと、四男喬さんによる大さんの思い出話がありました。

▲10月14日、高知農業高校でおいしくお米を食べる交流会が開かれ、同校生活科3年生10人と生活改善グループの22人が、たけのこ寿司やみょうが寿司などの料理を作りながら、楽しく交流をしました。



▲自然工法を使い、住民の憩いの場へと改修が進んでいた樋川川の工事がこのほど完成。それを記念し、十月三日、稲生土地改良区の主催で、稲生保育所の子どもたち二十一人がコイ三百匹を放流しました。

▼10月2日、市民体育館で南国市演芸大会が行われ、参加者たちは日ごろの練習の成果を見せようと、舞台上でいろいろなパフォーマンスを披露。訪れた観客たちは大喜びでした。



▲9月29日、奈路公民館で若手津軽三味線奏者の紺谷英和さんを迎え、ASならコンサートが開催されました。紺谷さんはフュージョンやロックとの共演をするなど、幅広く活躍中で、訪れたお客さんたちはその郷愁を誘う音色に聞き入っていました。



▲十月二日、保健福祉センターを会場に、俳優ケイシー高峰さんを迎えての、健康づくり講演会が行われ、ケイシーさんのジョークを交えた話に、会場には笑いがありました。

▼秋の全国交通安全運動が始まった9月21日から30日まで、市内では交通安全を呼びかけるいろいろな行事が行われました。

23日には、交通安全市民会議のメンバーらが扮したちんどん屋が、交通安全を訴えながら市内の量飯店をパレード。買い物途中のお客さんはしばし足を止め、見入っていました。



▶9月28日、保健福祉センターで、リハビリ料理教室が行われました。この日参加したのは男性5人を含む18人で、それぞれの体調、能力に合わせて作業を分担。調理をしながらの交流に「楽しい、またやりたい」と参加者たちの評判は上々でした。



▲9月19日、市内の老人クラブ「上大浦老人クラブ西部千寿会」のメンバー約20人が、ボランティアで市役所周辺植え込みの雑草刈り。メンバーはくわを手に、午前7時からの作業。プランター30鉢分の花を寄贈、市役所玄関前へ並べました。

